

第2章 本市の食をめぐる現状と課題

食育アンケートの結果から松戸市の食の現状と課題を報告
します

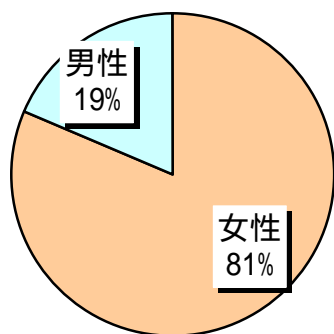
2章については、調整中です

「食育」に関する市民アンケート調査

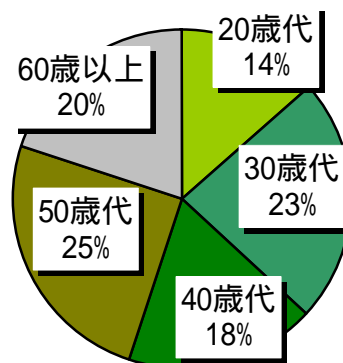
- ・ 調査対象者
20 歳以上の市民（住民基本台帳より無作為抽出）
- ・ 調査方法
郵送配布・郵送回収（督促礼状はがき 1 回）
- ・ 調査期間
平成 19 年 10 月 18 日(木)～10 月 31 日(水)の 14 日間
- ・ 対象者数及び回収結果
対象者数 3,000 人 有効回収数 1,262 有効回収率 42.1%

回答者は、性別では女性が多く、各世代から回答いただきました

回答者の性別は、調査票の食材購入・調理担当者という狙いから、女性 81% に対して男性 19% と女性が大半を占めました。年齢は、50 歳以上が 45%、それ未満が 55% で、20 歳代は 14% とやや割合が低いものの、世代間での極端な偏りはありませんでした。



回答者の性別

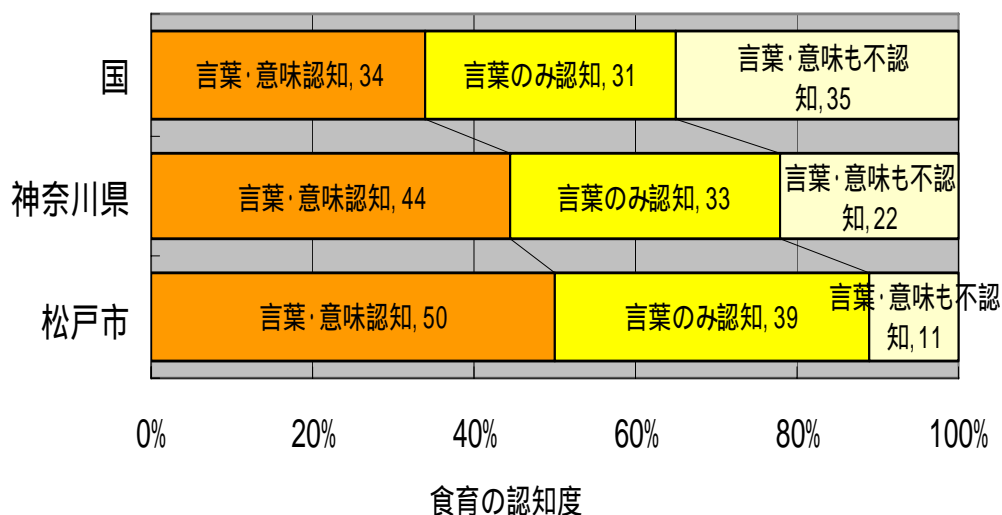


回答者年齢

9 割の人が「食育」という言葉を知っていました

「食育」という言葉に関して、回答者の半数以上はその意味も含めて理解しており、言葉のみ知っている人を加えると、9 割近くに

なります。先行の国(内閣府)と神奈川県が実施した食育に関するアンケート調査結果と比較すると、松戸市民を対象とした調査のほうが「食育」という言葉の認知度が高いという結果が出ています。これは、国の食育キャンペーンが浸透したことの結果と考えることもできます。



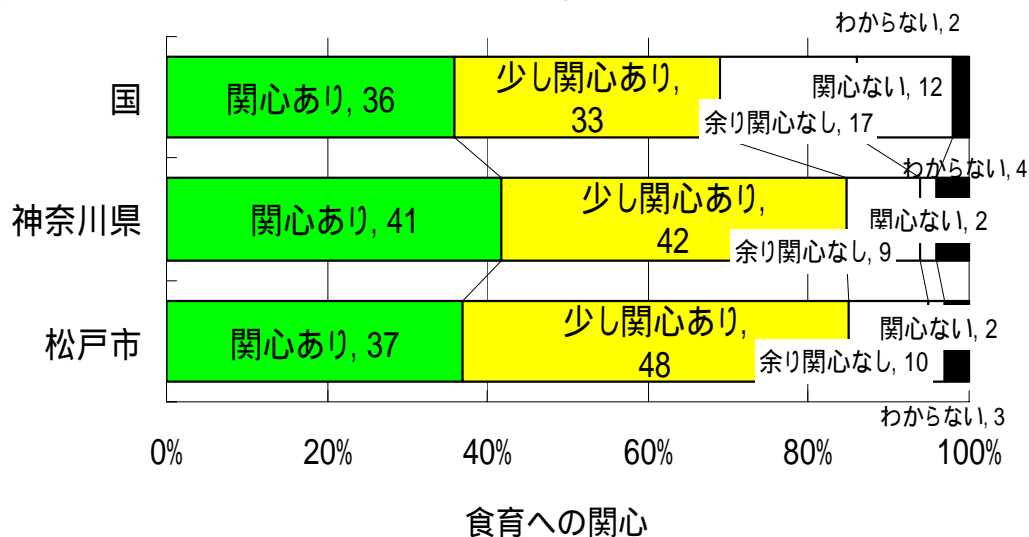
性別でみると、「食育」という言葉も意味も知らない男性が26%であるのに対して、女性では8%に過ぎません。

食育の認知度	性別	
	女性	男性
言葉・意味も知っていた	53.0	39.0
言葉のみ知っていた	39.5	35.1
言葉・意味も知らず	7.5	26.0
計 (%)	100.0	100.0
統計的検定結果(χ ² 検定)	***	

注)***、**、*は各1%、5%、10%の有意水準を示す。

食育への関心は高いといえます

食育への関心が「ある」、「どちらかといえばある」人を合わせると、回答者の85%に達しています。

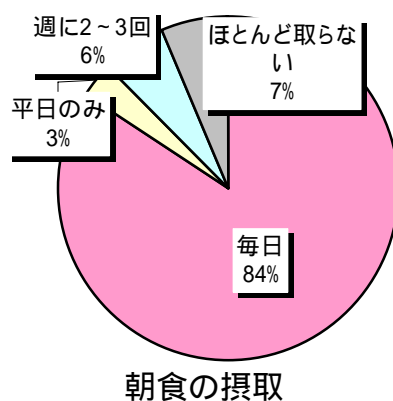


また、世代別と性別で関心の程度に差がみられました。世代別では40歳未満の回答者では関心が低く、性別では男性で関心が低いという結果になっています。

食育への関心	世代別		性別	
	40歳未満	40歳以上	女性	男性
関心なし	17.7	12.8	11.2	29.0
関心有り	82.3	87.2	88.9	71.0
計(%)	100.0	100.0	100.0	100.0
統計的検定結果(χ ² 検定)	**		***	

朝食を取らない人もいます

回答者では、朝食は毎日取っている人がほとんどを占めています。



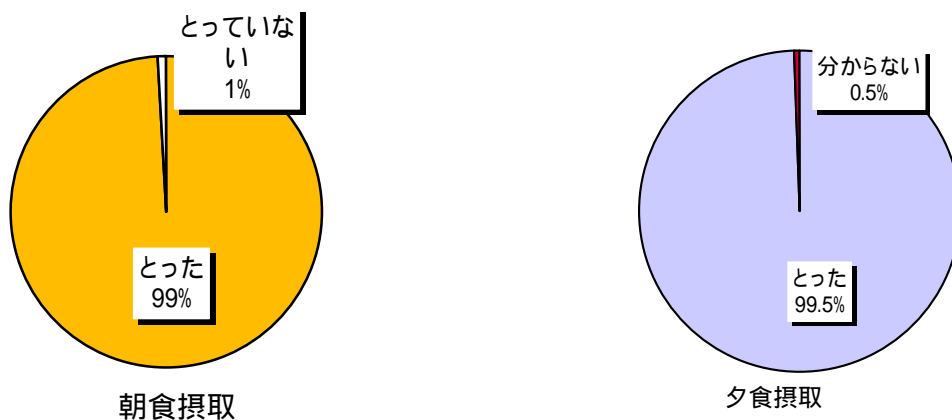
世代別では、朝食を取っている割合は、40歳以上では9割に達しているのに対して、40歳未満では75%でした。また性別では、男性で朝食をほとんど取らない人が16%います。

朝食の頻度	世代別		性別	
	40歳未満	40歳以上	女性	男性
毎日	74.89	89.62	86.99	72.1
平日のみ	5.84	1.77	3.13	3.86
週に2~3回	9.09	4.3	5.48	8.58
ほとんど取らない	10.17	4.3	4.4	15.45
計(%)	100.0	100.0	100.0	100.0
統計的検定結果(χ ² 検定)	***		***	

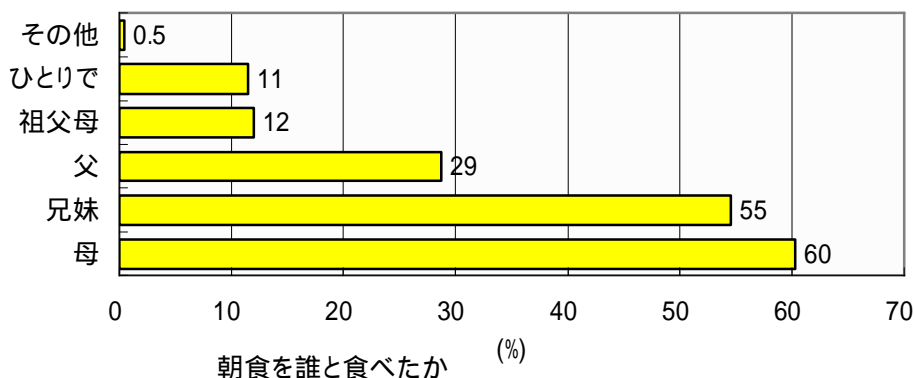
子どもの朝食について

「小学生から高校生までの子どもがいる人」には、子どもの食生活について回答してもらいました。自分の子どもは朝食・夕食とも

にとっている、ほとんどの親が回答しています。

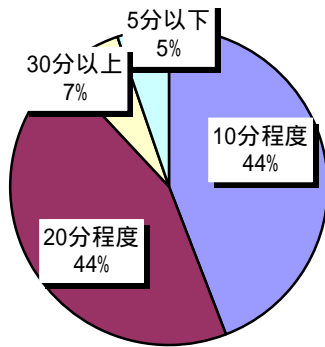


「誰と一緒に食べたか」については、朝食・夕食ともに母、兄妹、父の順となっています。朝食をひとりで食べた子どもは1割程度いました（夕食ではゼロ）。

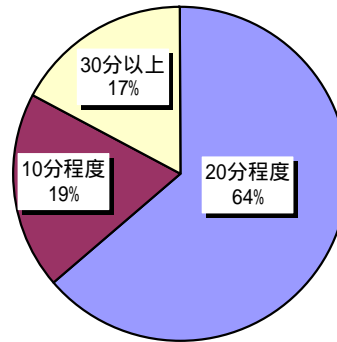


食事にかけた時間は、朝食は「10分程度」と「20分程度」をあわせると9割近くを占めています。夕食では、「20分程度」が最も多く、3分の2近くを占めています。

子どもの年齢に着目してみると、13歳以上では朝食・夕食ともに食事にかけた時間が短いという結果が出ています。



朝食にかけた時間

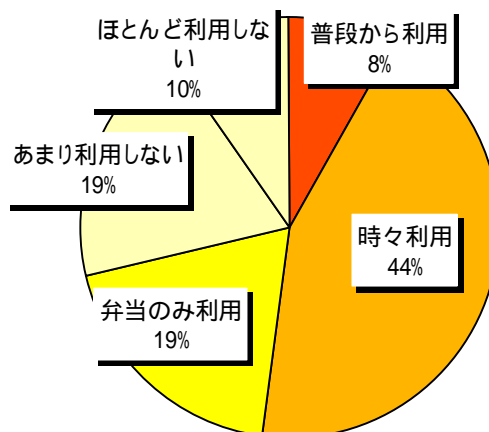


夕食にかけた時間

朝食にかけた時間	子供の年齢	
	13歳未満	13歳以上
5分以下	3.0	15.0
10分程度	41.7	55.0
20分程度	47.6	27.5
30分以上	7.7	2.5
計(%)	100.0	100.0
統計的検定結果 (χ^2 検定)	***	

子どものお弁当に冷凍食品が活躍しています

冷凍食品については、「時々利用している」という回答者が最も多く4割を超えています。次いで「お弁当などにのみ利用している」が2割程度となっており、「普段の食事に積極的に利用している」という回答者は1割に達しません。



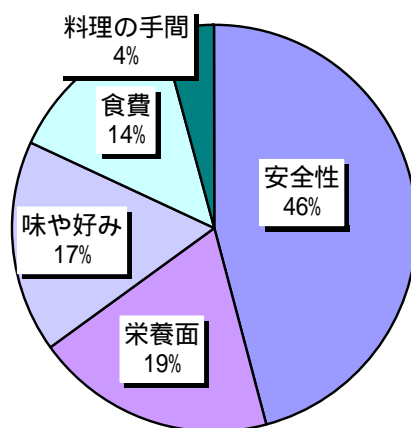
冷凍食品の利用状況

子どものいる回答者では、「お弁当などにのみ利用している」人が4割近くを占めています。

冷凍食品の利用	子どもなし	子どもあり
普段から利用	7.4	11.1
時々利用	46.4	36.0
弁当のみ利用	12.0	39.1
あまり利用しない	22.7	9.5
ほとんど利用しない	11.5	4.3
計(%)	100.0	100.0
統計的検定結果 (χ^2 検定)		***

食品購入時には安全性を重視しています

食品購入時の注意点は、安全性を重視する人が最も多く回答者の5割近くに達しています。次いで栄養面、味や好み、食費の順となっています。

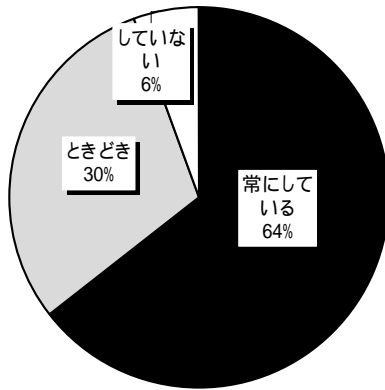


食品購入時の注意点

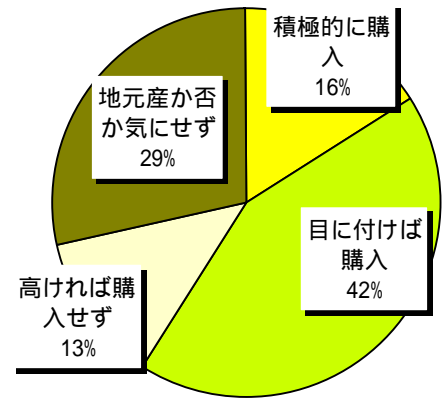
野菜や肉など生鮮食品を買うときの産地チェックについては、「常にしている」人が回答者の3分の2を占めています。

地元産の食材の購入については、「目に付けば購入するようにして

いる」という回答者が4割で最も多いものの、「地元かどうか気にしていない」という回答者も3割います。



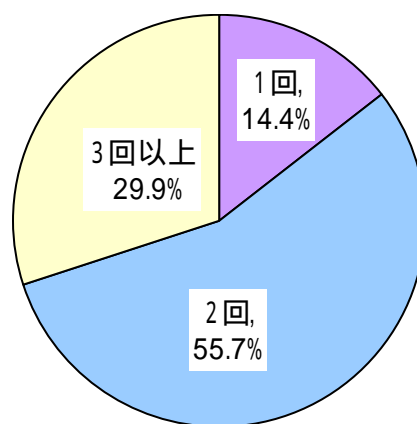
生鮮食品の産地チェック



地元産食材の購入

歯みがきを1日に何回しますか

1日に歯をみがく回数を質問したところ、回答者の半数以上が1日に2回という結果になりました。



歯みがきの回数

食事がおいしいと感じています

ほとんどの回答者が食事が「とてもおいしい」「おいしい」と感じています。

